閉会中の常任委員会調査報告

全員協議会 1月19日

案件

1 総合文教施設実施計画について

2 総合スポーツクラブ立ち上げについて

3 湯沢温泉通り事業協同組合の商店街活性化計画について

主な質疑

問 施設建設が先行していて、どういう教育するのかが見えてこない

答 学校現場で順次検討している。ある程度固まった段階で話す

問 地元産の木材をたくさん使用すべきではないか

答 象徴的な場所の「いろりの間」等でたくさん使用したい

問 入札の基準づくりはどうなっているのか

答 新年早々業者の募集を行う。現在入札参加資格関係の書類受付を行っている

問 今後の日程と事務局の場所は

答 2月15日に設立総会を行ないたい。事務局は総合管理公社に間借りする

問 総合型クラブと体協の2本立ては成立するのか

答 体協はそのまま存続させ、総合型クラブの中で活動していく

問 商店街活性化計画とは

答 西口温泉通りの活性化を目指すものである。3つの目標で行う
・温泉通り・店舗の個性化・魅力の向上
・通りに人を増やし活気を取り戻す
・通りを人とものの交流拠点とする

問 地域商店街活性化法の適用したいとのことだが負担割合は

答 国の補助金2／3
地元負担1／3

産業建設常任委員会 1月27日

委員長 南雲 正

案件

1 雪国観光圏の現状と今後の展開について

2 夏季（春夏秋）観光振興対策の成果と冬期スキー観光等の現状について

3 三俣振興対策「道の駅」整備状況

主な質疑

問 24年度で国の補助事業が終了するが

答 7市町村の連携は今後も継続し行政の支援も継続してもらいたい

問 湯沢観光協会との整合性は

答 湯沢観光協会の広域連携事業に盛り込まれる

問 今年度の観光振興対策は

答 東日本大震災からの経済復興対策を中心にさまざまの対策をこうじてきた。緊急対策は概ね成果があったと考えている

問 スキーシーズンが始まったが入込数は

答 スタートしたばかりであるが12月3週には半数のスキー場がオープン、年末年始も順調に推移している

問 道の駅の整備状況は

答 国取得分の用地買収が契約にいたらず、オープンの目処が立たない。三俣未来まちづくり協議会にはこのことを伝えてある。又下水道の認可も得られていない。

厚生福祉常任委員会 1月25日

委員長 佐藤守正

案件

1 第5期 介護保険事業計画（案）について

2 第2期 障がい者計画（案）について

主な質疑

問 特別養護老人ホームの30床増床はどこにするのか

答 ゆのさと園にお願いする計画である

問 保険料の基準額・月額4800円については

答 全国・県内の市町村に比べると湯沢は安い方である

問 親が、障がいを持つ子供の面倒が見られなくなった時の、不安が大きいが

答 大きな課題である。南魚福祉会と相談してやっていきたい

問 湯沢病院では重度の障がい者が訪問看護を受けられないが

答 湯沢病院の訪問看護はスタッフの関係でまだ不十分。できる限り対応したい

総務文教常任委員会 2月7日

委員長 今村定一

案件

1 町税の収納状況について

2 童画展の応募作品の現状と今後の課題について

3 町営スキー場運営委員会（仮称）構想の進捗状況について

主な質疑

問 町税の収納状況について

答 一般会計合計現年分徴収率74・8％（22年同月より4・8％増）
固定資産税現年分徴収率 72・5％（22年同月より5・8％増）

問 第16回童画展作品応募は、審査は

答 204点（昨年195点）
・賞金の変更
大賞30万円→50万円
最優秀賞20万円→25万円
・2月3日審査
・3月3日表彰式

問 ロープウェー運営等に対して日本ケーブル・SRSに提言・助言を行う組織の内容は

答 町観・温泉旅館組合・民宿組合・温泉通り事業組合・副町長・議会・監査委員等を考えている